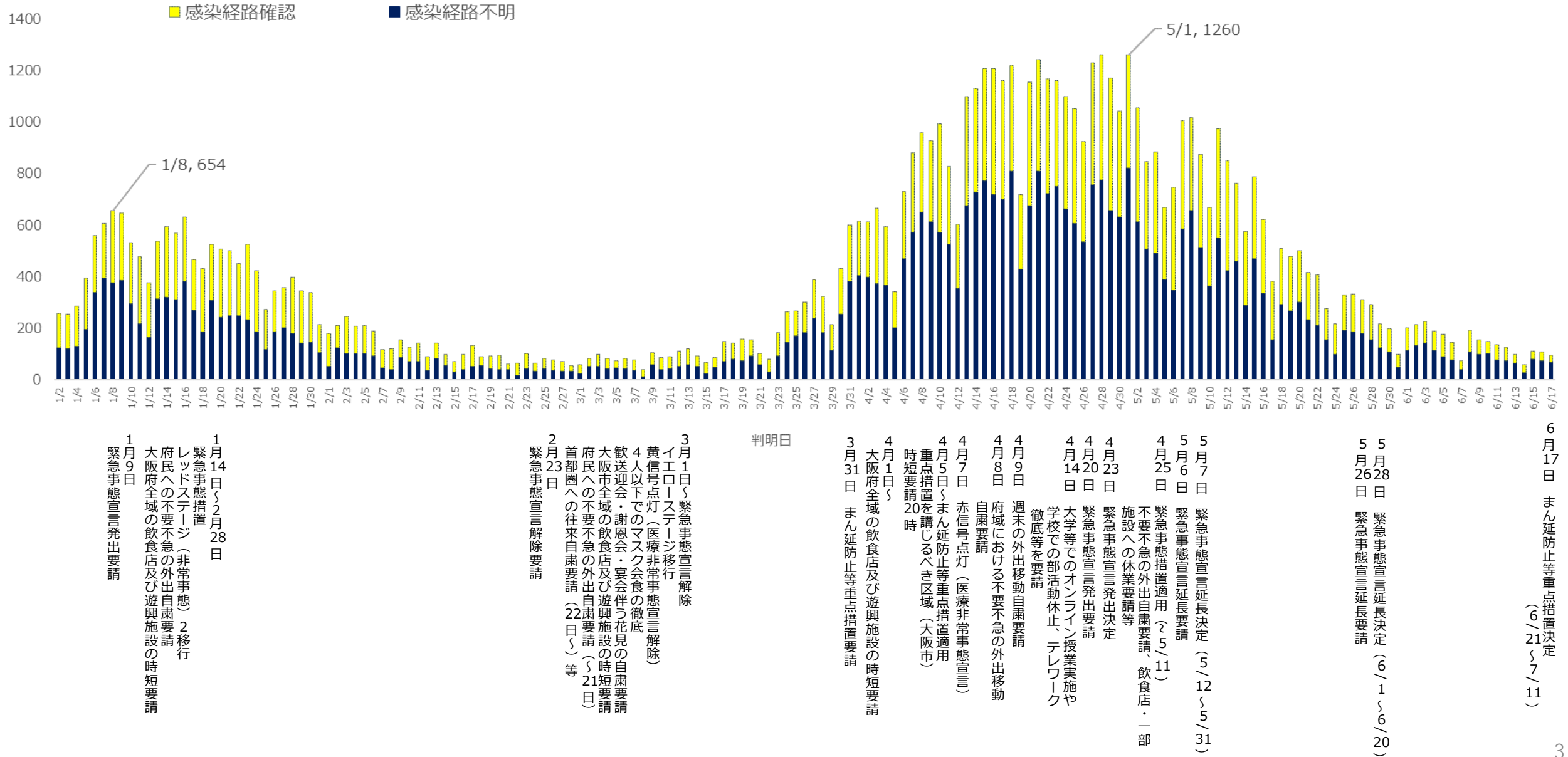


- | | | |
|---|----------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P2~13 |
| 2 | 入院療養状況 | P14~18 |
| 3 | 重症者数の推移等 | P19~22 |

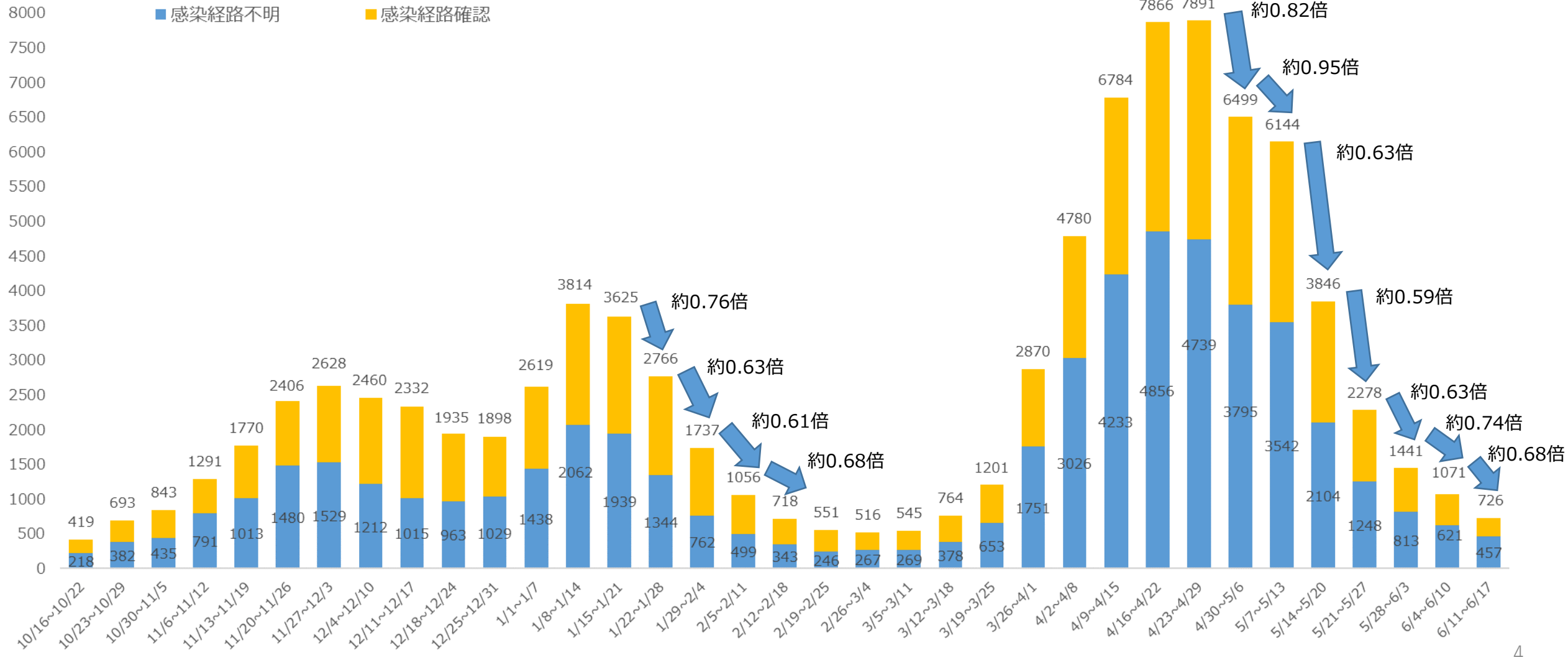
1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移



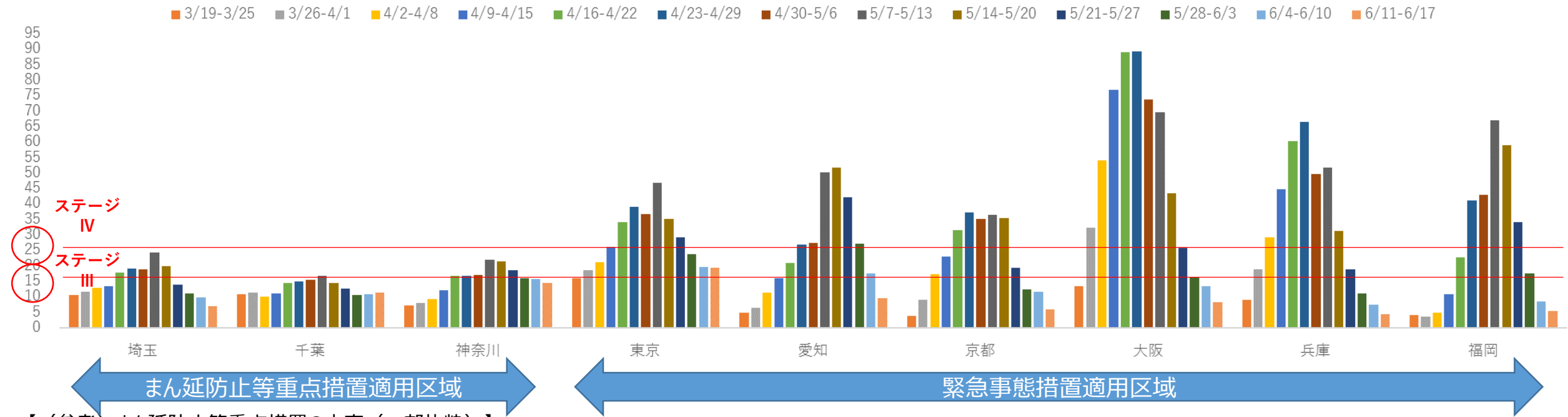
7日間毎の新規陽性者数

一日平均約104名の新規陽性者が発生。



第四波緊急事態宣言発令区域（一部都道府県） 週・人口10万人あたり新規陽性者数

◆ 緊急事態措置適用区域の東京都、愛知県、関西2府1県、福岡県は、措置適用後、新規陽性者数が比較的大きく減少。

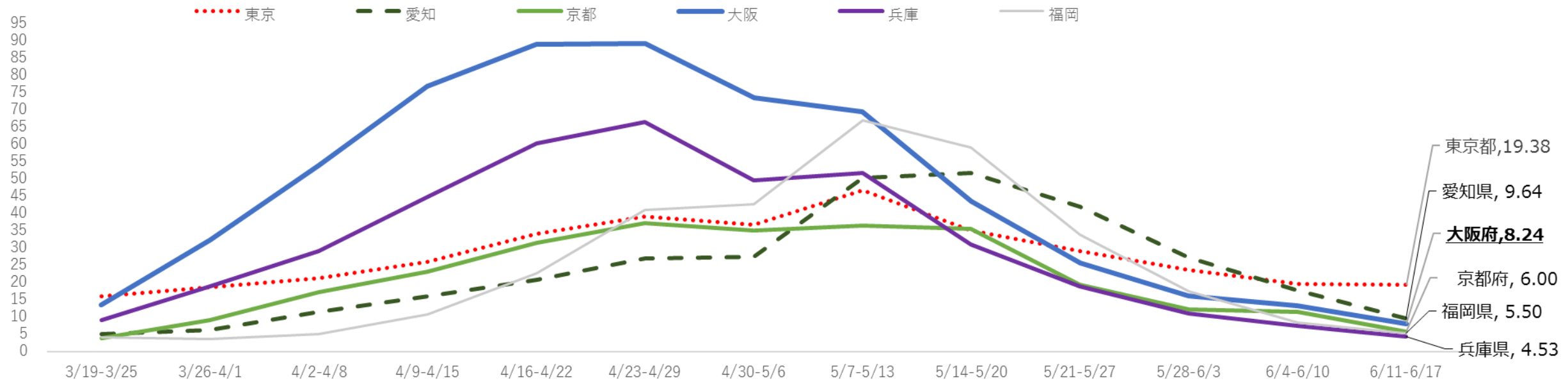


【（参考）まん延防止等重点措置の内容（一部抜粋）】

		まん延防止等重点措置適用区域		
		埼玉県	千葉県	神奈川県
飲食店	措置区域	時短20時（酒類終日自粛）	時短20時（酒類終日自粛）	時短20時（酒類終日自粛）
	措置区域外	時短21時（酒類終日自粛） ※一人または同居家族との場合は20時まで可	時短21時まで （酒類11時～20時）	時短21時まで（酒類11時～20時）
施設	措置区域	時短要請等（20時）・酒類終日自粛	時短要請等（20時）・酒類終日自粛	時短要請等（21時）
	措置区域外	時短協力依頼要請等（21時）・酒類終日自粛	時短協力依頼要請等（21時）・酒類11時～20時	時短協力要請等（21時）
外出自粛		生活に必要な場合を除く、日中を含めた外出の自粛		

第四波緊急事態宣言発令区域（一部都道府県） 週・人口10万人あたり新規陽性者数

- ◆ 3月以降、関西2府1県は感染が急拡大したが、東京都は関西圏と比較すると感染拡大が抑えられた。
愛知県、福岡県は、4月末以降感染が急拡大。
- ◆ 他府県と比べ、関西2府1県は、3月上旬より変異株が本格的に置き変わり始めた。



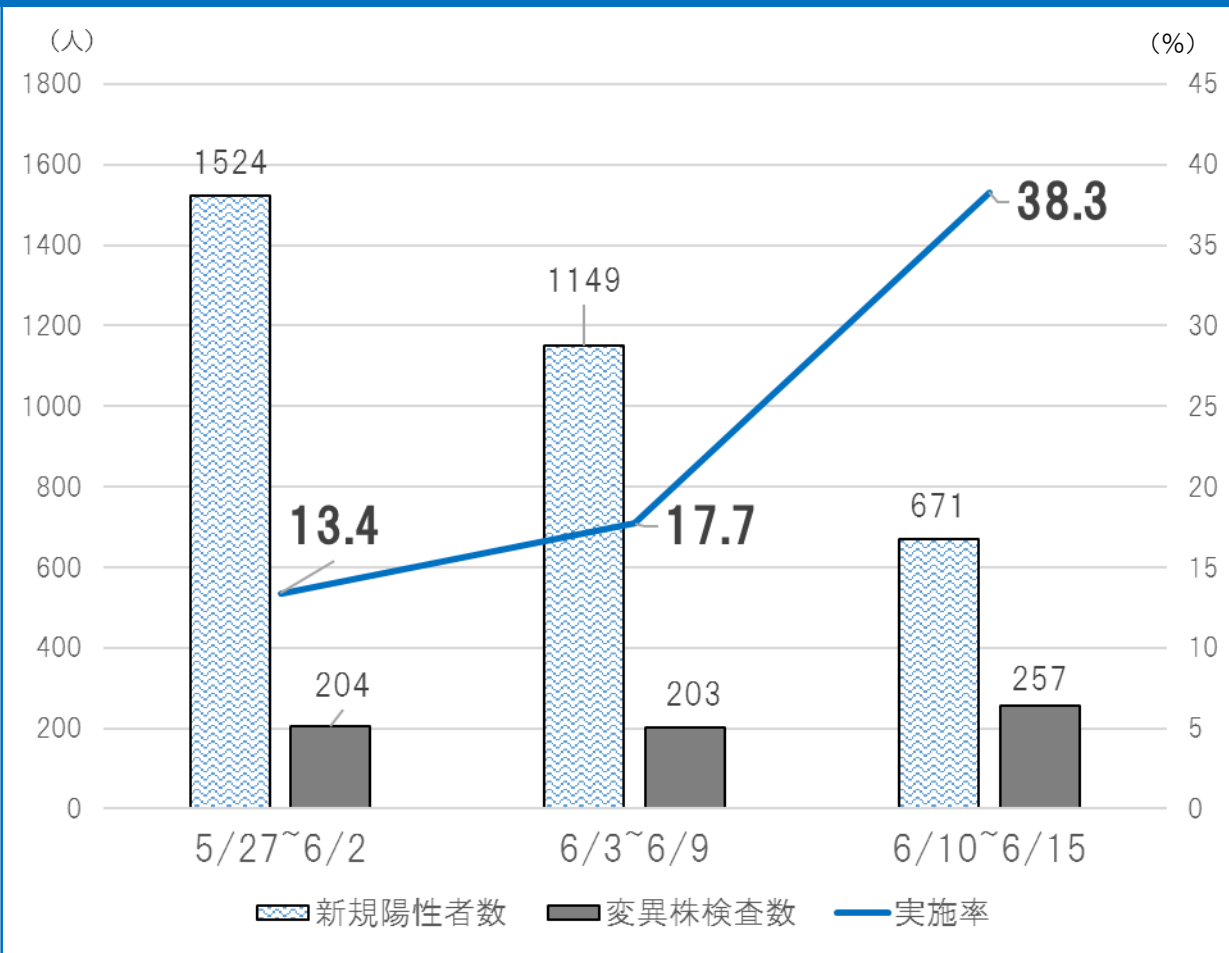
変異株置き換わりの割合	都府県	3月上旬	4月上旬	5月上旬	6月上旬
	東京都	—	約0.25	約0.75	約1.00
	大阪府	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	京都府	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	兵庫県	約0.25	約0.75	約1.00	約1.00
	愛知県	約0.20	約0.50	約0.85	約1.00
	福岡県	—	約0.25	約1.00	約1.00

(※) 501Y変異検出数／501Y-PCRスクリーニング件数（第38回アドバイザリーボード資料3 - 2を元に記載）。割合は大阪府が資料より推定したものであり、正確を期すものではない。

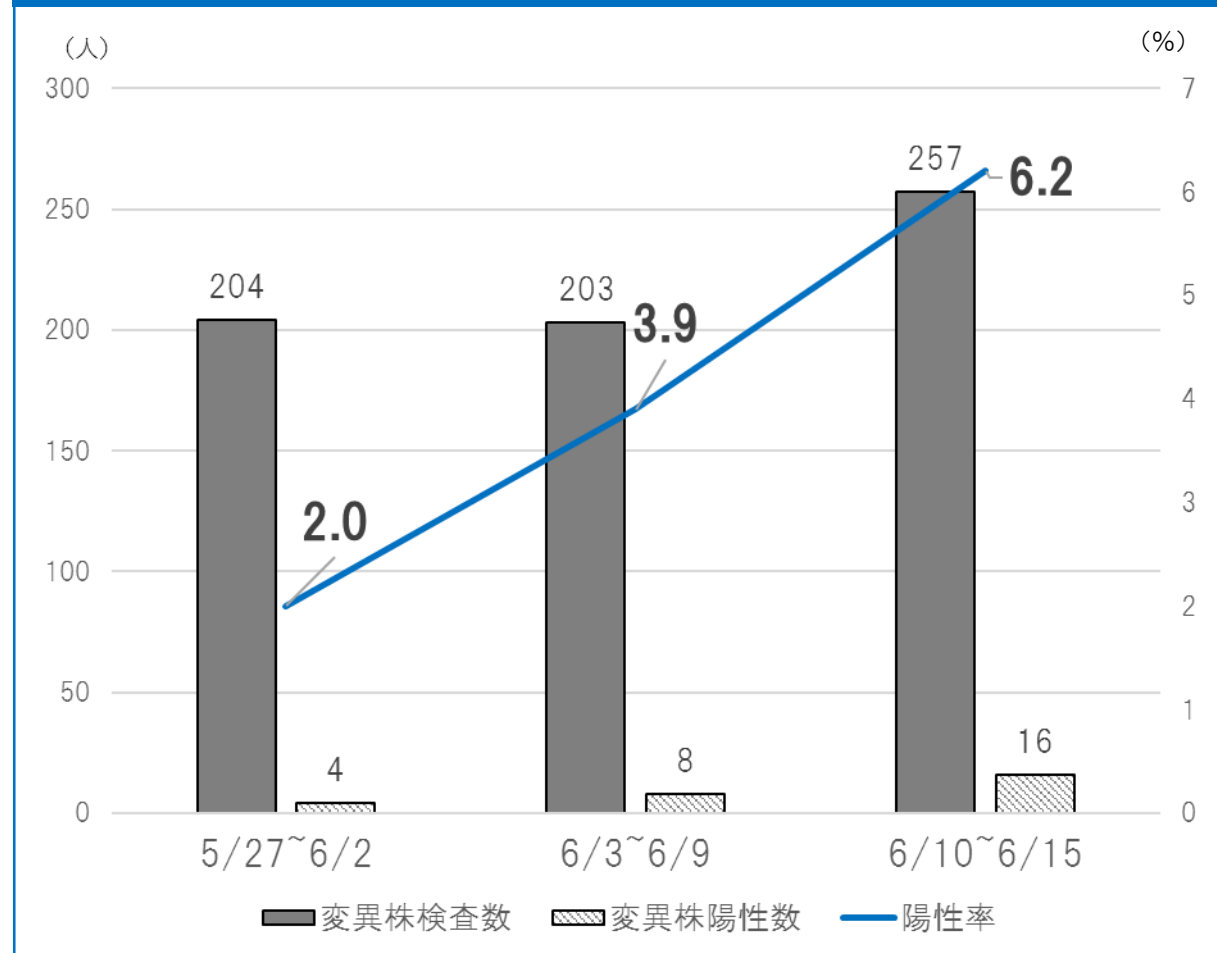
L452R変異株スクリーニングの実施率及び陽性率

○一般財団法人阪大微生物病研究会でのスクリーニングが始まった5月下旬から1週間毎に集計。（国が委託する大手民間検査機関分も含む）
新規陽性者及びスクリーニング陽性数は当該週の公表数、スクリーニング検査数は当該週に結果判明した件数として、実施率及び陽性率を算出。

新規陽性者数及びスクリーニング検査数（実施率）



スクリーニング検査数と陽性数（陽性率）

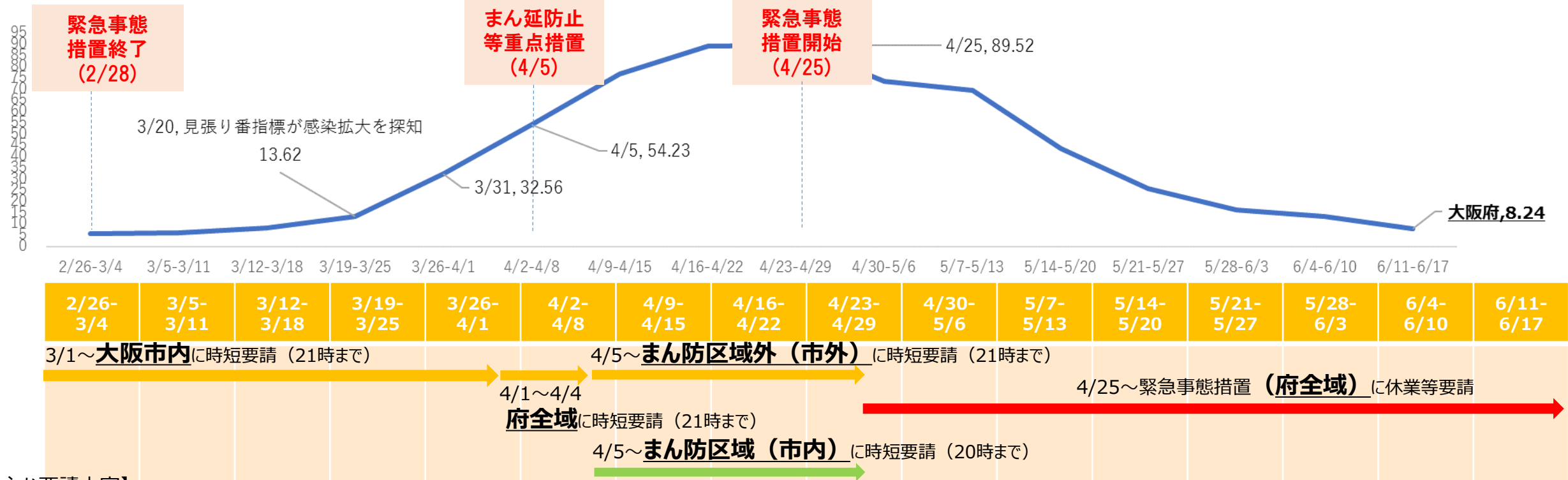


※6/10~6/15の週は、6日間の集計値。

※スクリーニング検査数には、インド等への渡航歴がある者やデルタ株等陽性患者との接触歴がある者の検査数を含む。

大阪府 週・人口10万人あたり新規陽性者数の推移と措置

- ◆ 大阪府では、まん延防止等重点措置適用要請時点でステージⅣ（25人）を上回り、措置適用時は40人を超過。措置の効果が表れる2週間後に新規陽性者数が横ばいとなったことから、まん延防止等重点措置は増加を抑制する効果はあったものの、減少には至らず。
- ◆ 緊急事態措置適用後、新規陽性者数は急減。



【主要要請内容】

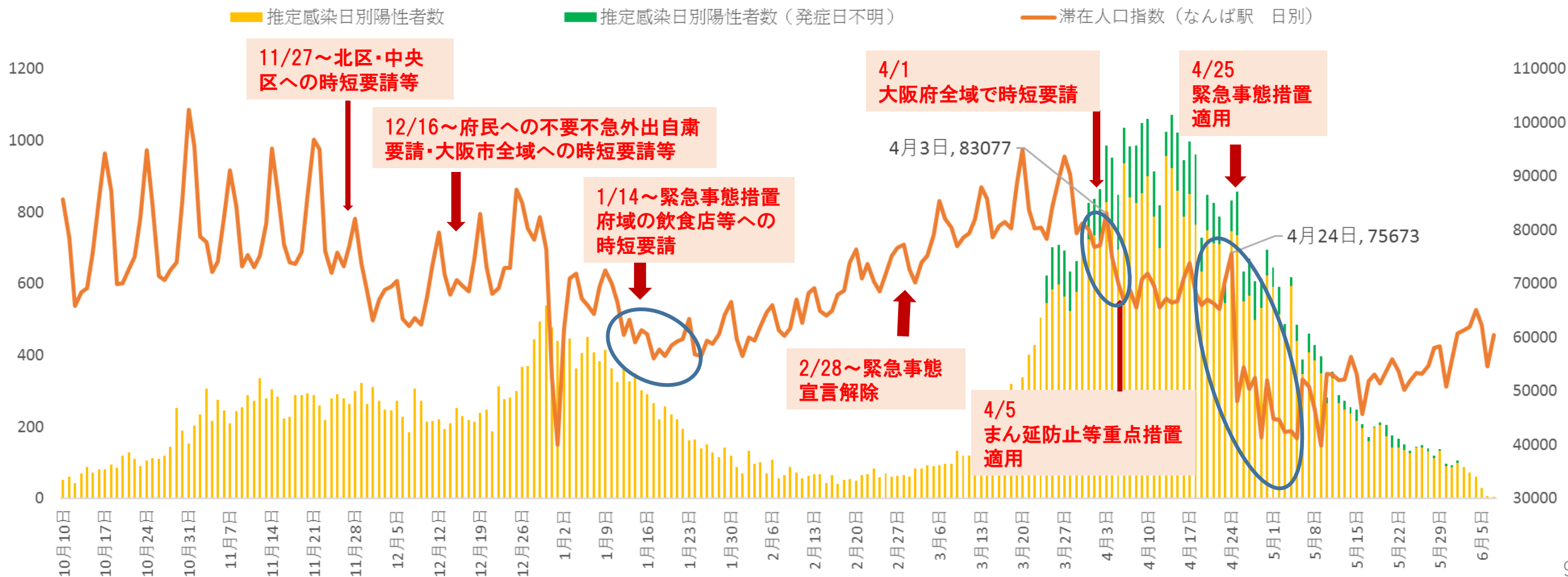
	まん延防止（4/5～）【市内】	緊急事態措置（4/25～5/31）【府域 以下同】	緊急事態措置（6/1～6/20）
飲食店	○時短要請等（20時）	○酒類・カラオケ提供：休業要請 ○酒類・カラオケ提供無：時短要請等（20時）	○左記に同じ
飲食店以外の施設	○時短協力依頼等（20時）	○1000㎡超：休業要請 ○1000㎡以下：時短協力依頼等（20時）	○1000㎡超：平日 時短要請等（20時） 土日 休業要請 ○1000㎡以下：時短協力依頼等（20時）
イベント	○上限5000人かつ収容率50%（大声あり）等	○無観客開催要請	○平日 上限5000人かつ収容率50%、時短（21時） ○土日 無観客開催要請

推定感染日別陽性者数と人流について【日別 6月14日時点】

- ◆ 第三波の緊急事態宣言発令直後と比べ、人流抑制による感染収束を目的として措置を強化している第四波は、措置適用4月25日以降、人流が大きく減少し、減少している機関が比較的長い。
なお、4月5日のまん延防止等重点措置適用直前に人流は減少したが、すぐに横ばいに転じた。
- ◆ ゴールデンウィーク後、人流は増加傾向（2月下旬の緊急事態宣言解除前と同様の傾向）。

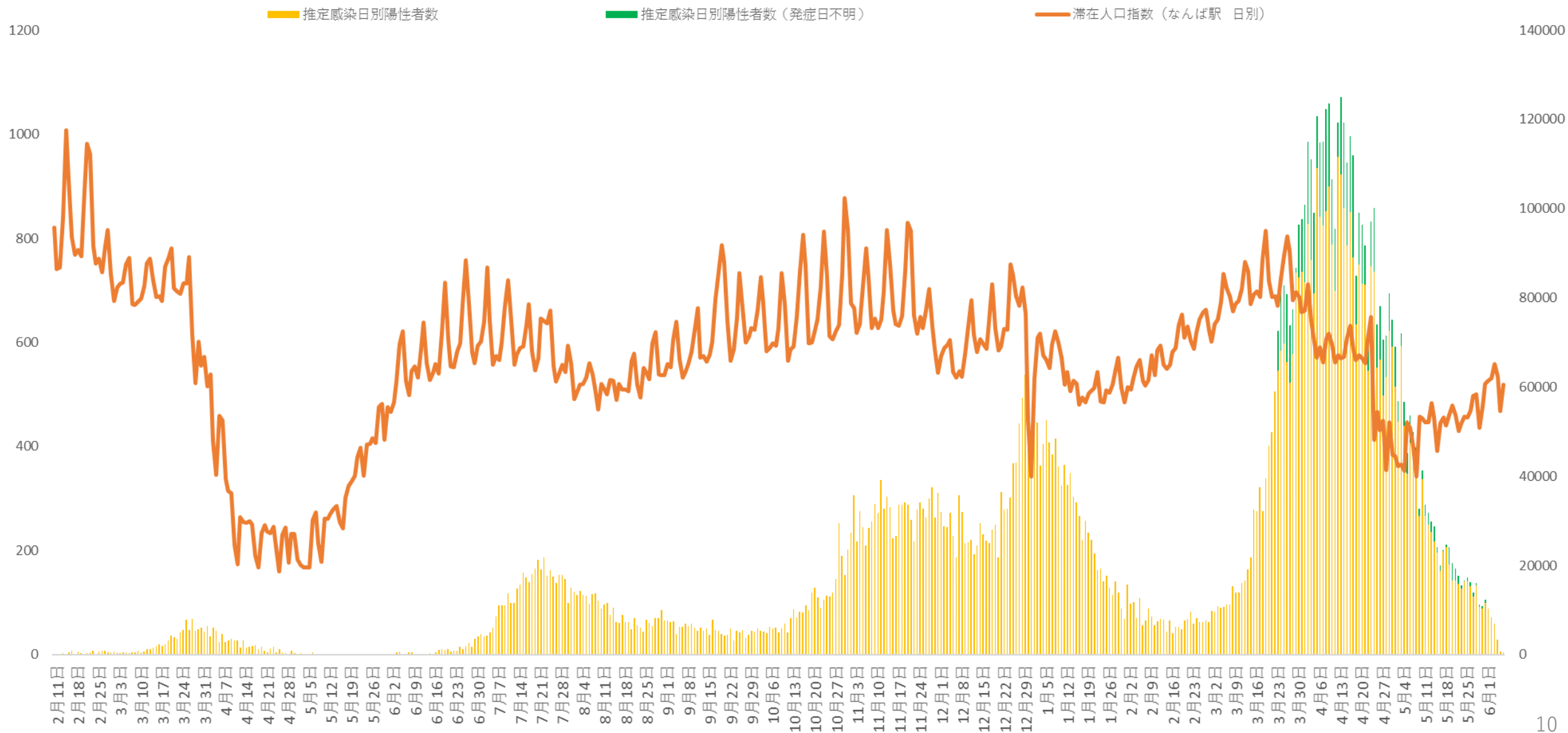
感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定すると、概ね6/2～6/14の期間は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウントしており、前述のアドバイザーボードの人流データとは異なる。【出典：株式会社Agoop】



第一波以降 推定感染日別陽性者数と人流について【日別 6月14日時点】

感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定すると、概ね6/2～6/14の期間は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。
人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】



「大阪モデル」モニタリング指標の状況

病床のひっ迫状況は改善傾向。重症病床使用率（224床で算出）は、53.6%まで減少。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者 7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	0.76	0.77	0.79	0.78	0.74	0.74	0.74	5/4以降 1 を下回り、減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数 7日間移動平均		—	—	10人未満	83.57	81.43	79.57	77.71	73.71	70.14	65.29	5/3以降、減少傾向
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	57.5%	57.9%	64.6%	45.6%	70.9%	68.5%	70.5%	概ね40～60%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③ 7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半 3 日間で半数以上	—	—	—	1016	968	919	904	824	779	726	5/3以降、減少傾向
	うち後半3日間					435	408	356	279	263	275	313	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	11.53	10.98	10.43	10.26	9.35	8.84	8.24	5/3以降、減少傾向
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	1.3%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	1.0%	1.0%	5/8以降、減少傾向
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率 ※使用率の分母は224床		70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	66.5% (41.5%)	63.8% (39.8%)	63.4% (39.6%)	60.7% (38.7%)	59.4% (37.8%)	55.4% (35.2%)	53.6% (34.1%)	6/15に60%を下回った
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	33.0%	31.8%	32.2%	33.1%	28.8%	27.5%	25.3%	5/6以降、減少傾向
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	7.8%	7.1%	7.2%	7.2%	6.6%	6.2%	6.0%	5/3以降、減少傾向

- ・大阪モデルの重症病床使用率は、緊急事態措置期間中は224床で算出（5/28 第51回本部会議決定事項）。重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。
- ・括弧内は、病床確保計画の確保病床数を分母として算出。

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
 4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）
 5/6 緊急事態措置延長要請を決定（第48回対策本部会議）
 5/7 緊急事態措置延長決定、府としての措置を決定（第49回対策本部会議）
 5/25 緊急事態措置延長要請を決定（第50回対策本部会議）
 5/28 緊急事態措置延長決定、府としての措置を決定（第51回対策本部会議）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

感染の状況を示す指標は、感染経路不明の割合以外、ステージⅢを下回っている。
また、医療のひっ迫具合を示す指標は、確保病床占有率及び重症病床確保病床占有率がステージⅣの基準を下回っている。
※国定義により、HCU等病床数及び患者数を含む

指標				ステージⅣ 目安	ステージⅢ 目安	3/1 緊急事態措置解除	4/25 緊急事態措置適用	5/12 緊急事態措置延長	6/1 緊急事態措置延長	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/17時点の ステージⅣの目安に 対する状況	6/17時点の ステージⅢの目安に 対する状況
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	20%以上	30.4% (601/1,978)	88.7% (1,882/2,122)	80.2% (2,087/2,603)	52.6% (1,410/2,680)	34.1% (923/2,704)	32.9% (889/2,704)	33.2% (898/2,704)	33.8% (912/2,696)	29.9% (808/2,698)	28.5% (768/2,698)	26.4% (713/2,699)	○	●
			②入院率	25%以下	40%以下	56.1% (601/1,072)	11.3% (1,882/16,692)	9.6% (2,087/21,812)	16.8% (1,410/8,411)	15.8% (923/5,854)	15.8% (889/5,641)	16.2% (898/5,539)	17.2% (912/5,313)	19.9% (808/4,066)	22.9% (768/3,352)	23.7% (713/3,009)	●	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	20%以上	35.0% (143/408)	73.1% (386/528)	67.5% (500/741)	42.8% (339/792)	26.6% (214/805)	25.8% (208/805)	25.7% (207/805)	25.2% (201/797)	28.7% (240/835)	27.7% (231/835)	27.2% (227/835)	○	●
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	20人以上	12.16	189.36	247.44	95.42	66.41	63.99	62.84	60.27	46.13	38.03	34.13	●	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均		10%以上	5%以上	1.6%	7.5%	6.4%	1.9%	1.3%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	1.0%	1.0%	○	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		25人以上	15人以上	5.67	86.08	69.61	18.63	11.53	10.98	10.43	10.26	9.35	8.84	8.24	○	○
		⑦感染経路不明割合 1週間平均		50%以上	50%以上	47.4%	61.3%	56.1%	56.0%	57.6%	58.9%	60.6%	60.2%	62.6%	63.0%	62.9%	●	●

入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

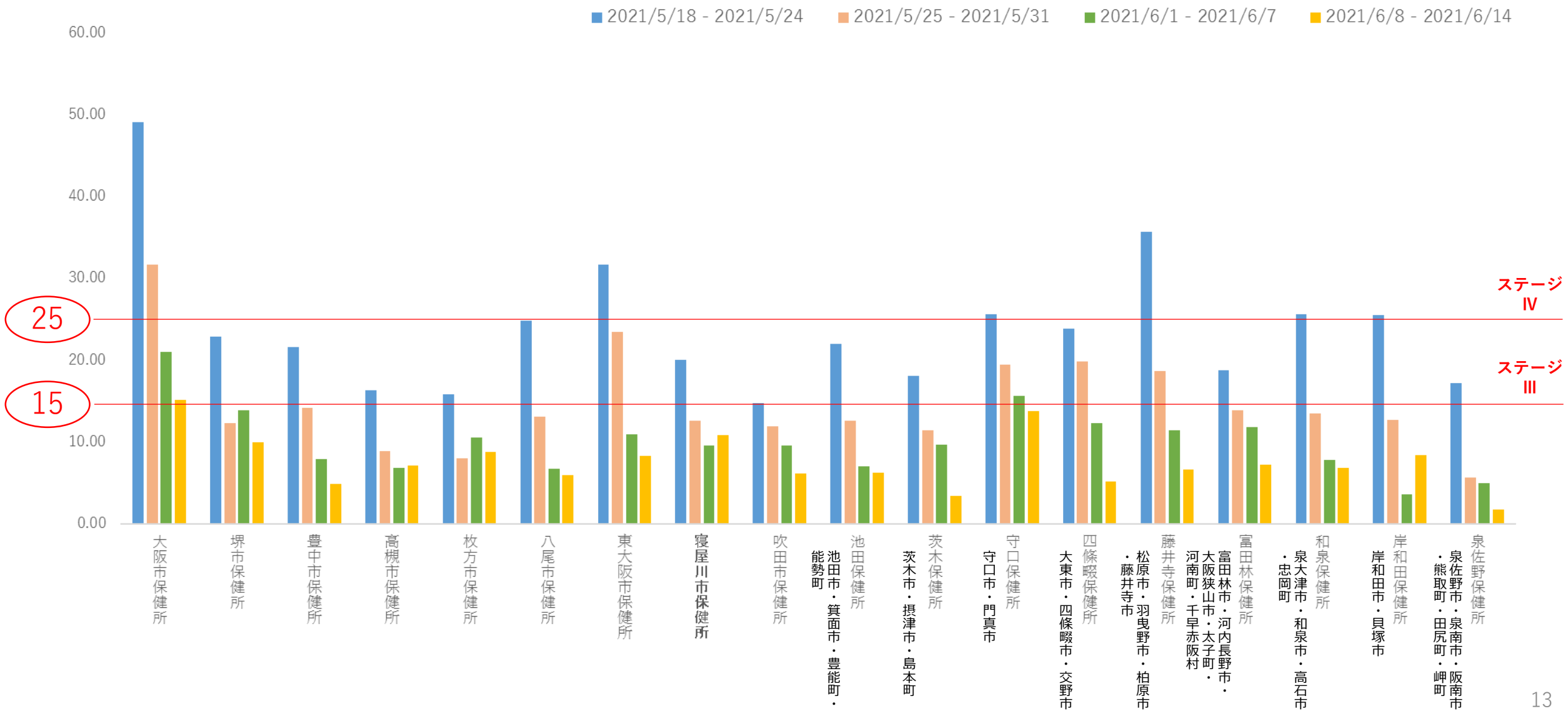
3/1 緊急事態措置解除
4/25 緊急事態措置適用
5/12 緊急事態措置延長
6/1 緊急事態措置延長

●：基準外 ○：基準内

保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり 6月14日時点）

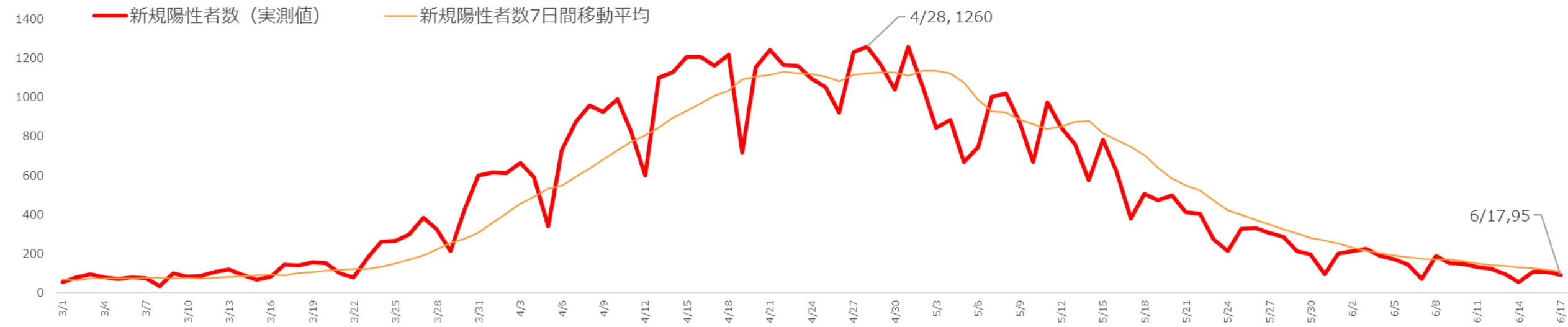
※居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

ほぼ全ての保健所管内で新規陽性者数は減少傾向。
直近1週間でステージⅢ（15人）を上回った（15.20）のは大阪市保健所管内のみ。

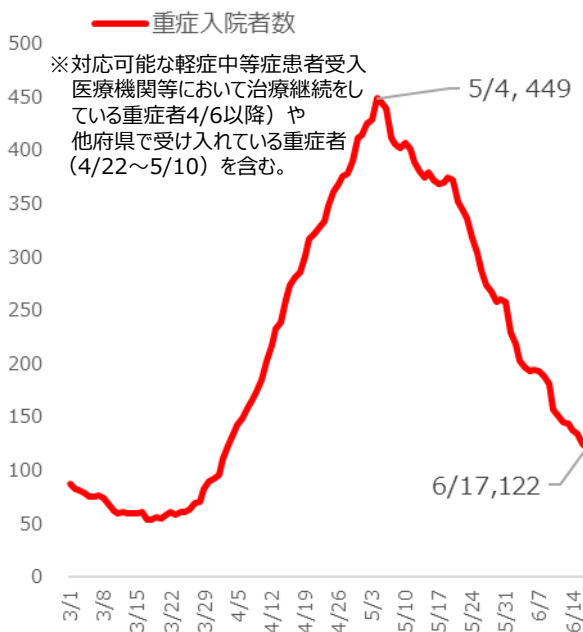


2 入院・療養状況

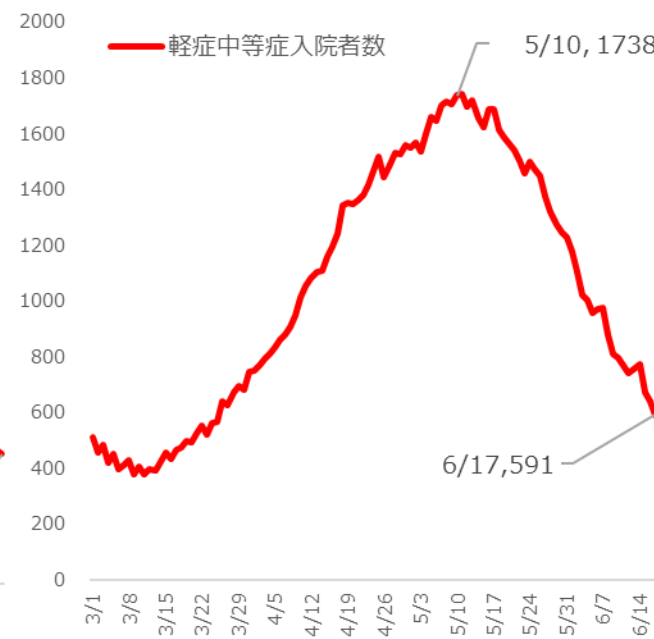
新規陽性者数と入院・療養者数（6月17日時点）



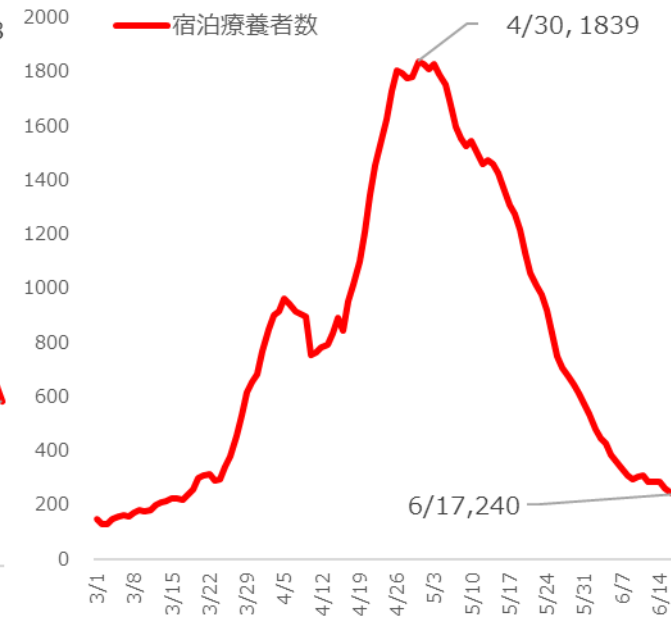
入院患者（重症）



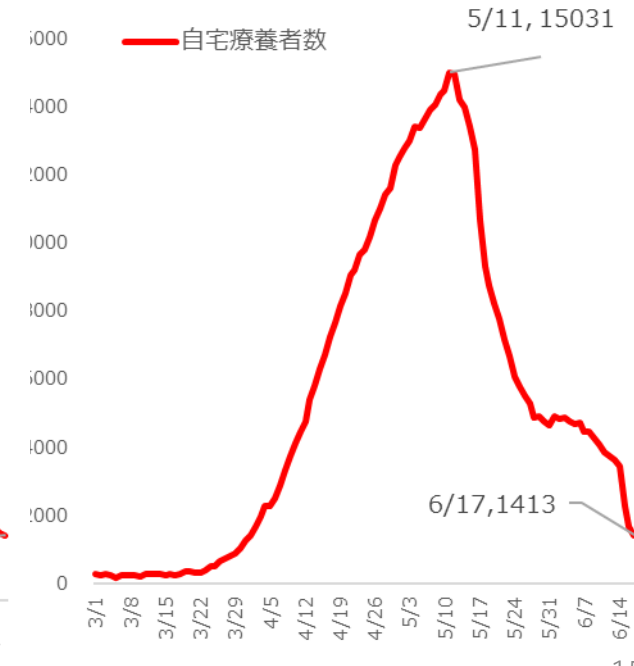
入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況(6月17日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	90床	1,000床	800室
	フェーズ2	160床	1,700床	1,600室
	フェーズ3	250床	2,000床	2,400室
	フェーズ4	350床	2,350床	4,000室
	災害級非常事態(目標)	500床	3,000床	—
確保数等 重症病床： 6月21日からフェーズ3へ移行 軽症中等症病床： 6月21日からフェーズ2へ移行 宿泊療養施設： 6月17日からフェーズ2へ移行		確保数 352床	確保数 2,347床	3,986室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 1,413人)		120人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている者 2人 (計 重症者数 122人)	593人※ ※左記2人を含む	240人
使用率		34.1% ※1 (入院者数 120 / 確保数等 352) 大阪モデルに基づく使用率は、53.6% (入院者数 120 / 確保病床数 224)	25.3% (593 / 2,347)	6.0% (240 / 3,986)
運用率		35.8% ※1 (入院者数 120 / 運用数 335) うち、大阪コロナ重症センター (15 / 29) (参考) 36.4% 運用病床に占める重症者数割合 (重症者数 122 / 運用数 335)	25.3% (593 / 2,347)	7.2% (240 / 3,352)

※1 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

※2 大阪モデルの重症病床使用率は、緊急事態措置中は224床で算出(5/28 第51回対策本部会議決定事項)。

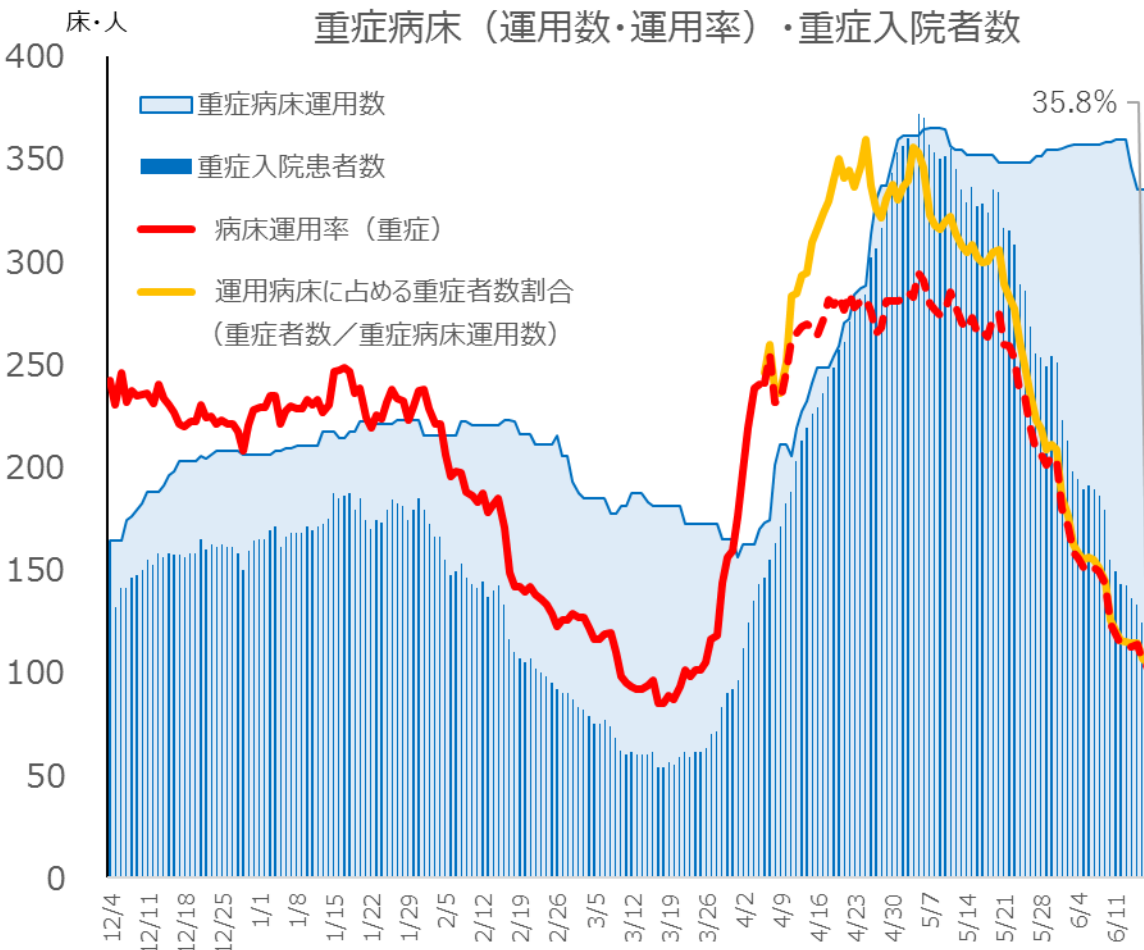
新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月17日現在 **病床運用率35.8%**

運用病床数 **335床** 入院患者数 **120人**※

※ 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、
治療継続をしている重症者数2人（計 重症者数122人）



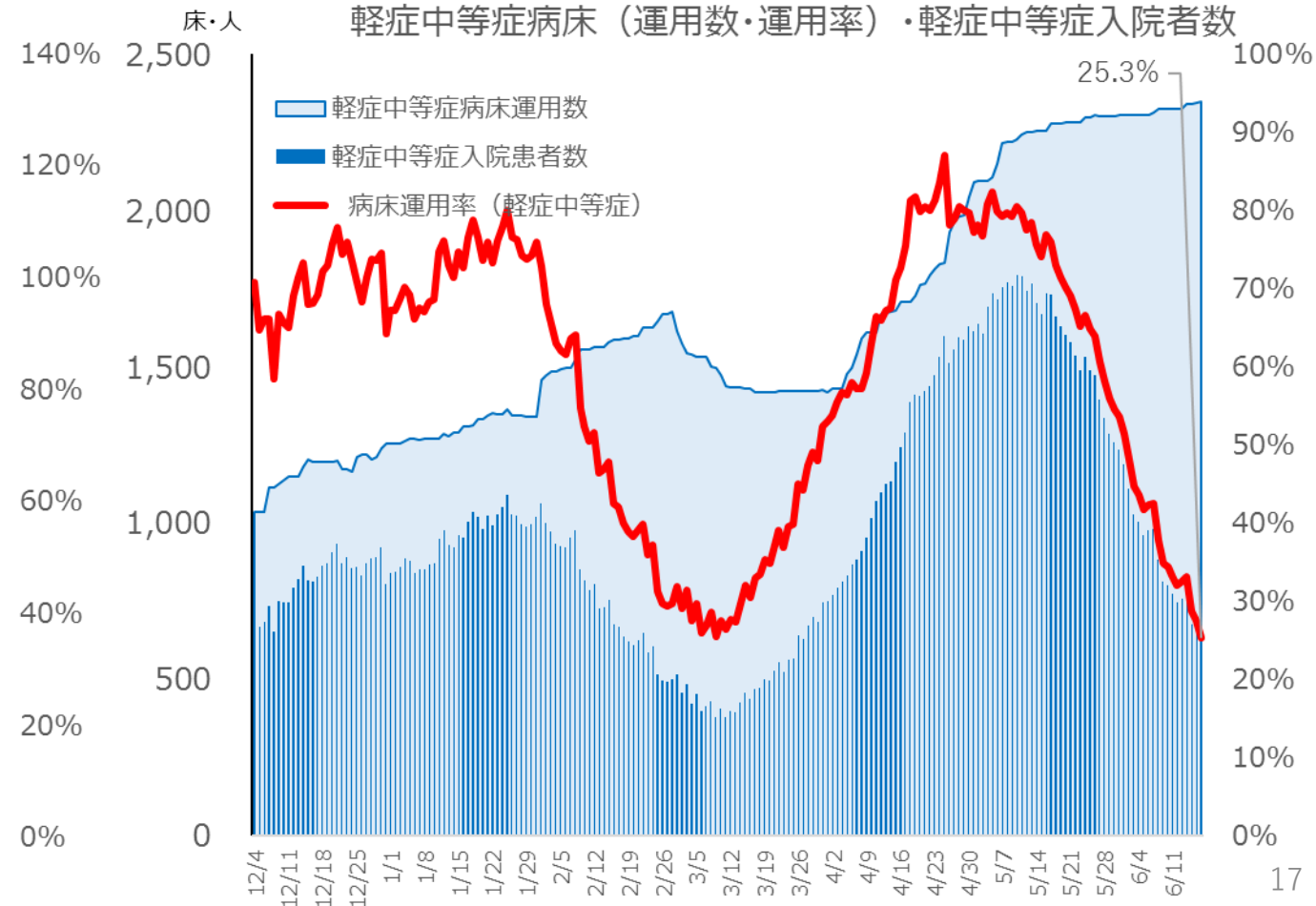
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月17日現在 **病床運用率25.3%**

運用病床数 **2,347床** 入院患者数 **593人**※

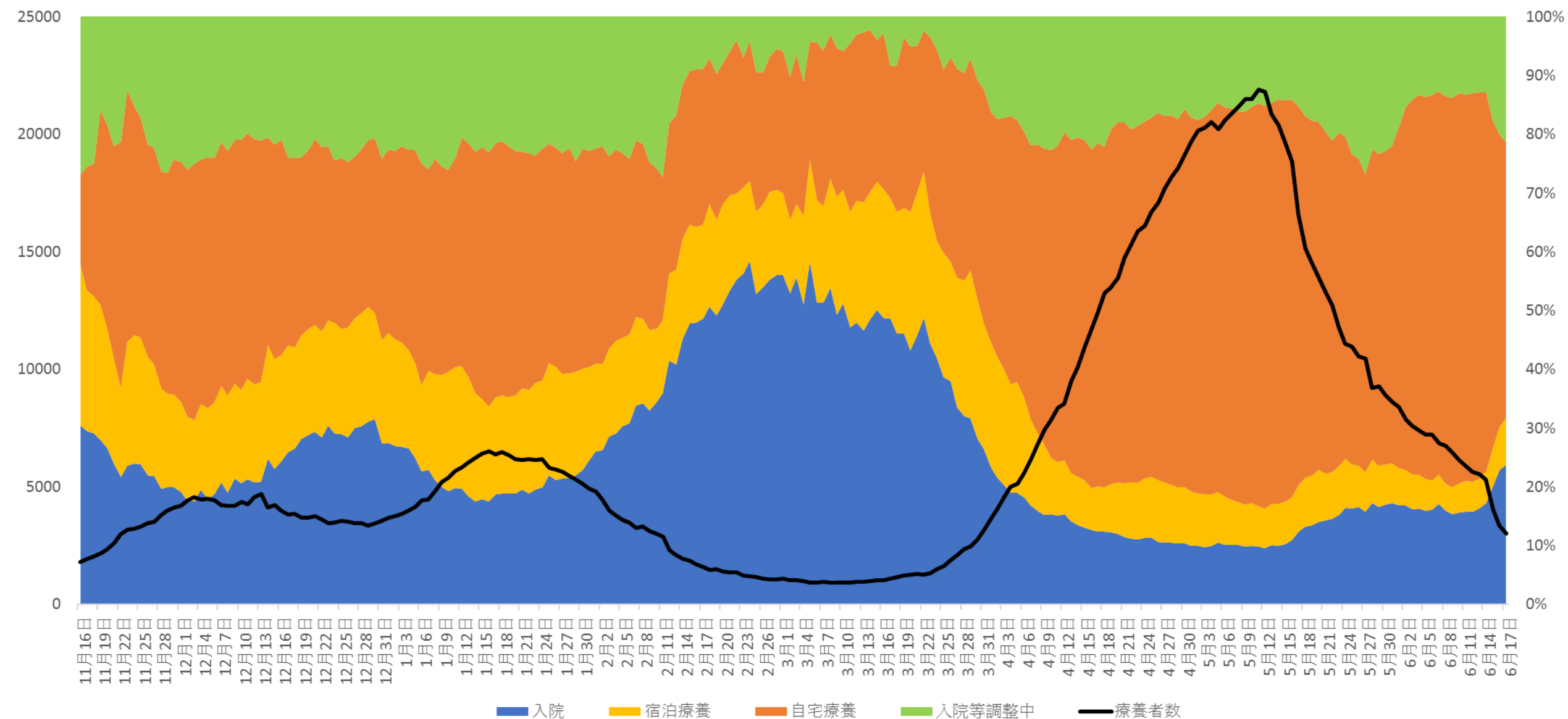
（※左記2人を含む）

・**小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約26%**



入院・療養状況(6月17日時点)

入院率は、5月12日以降増加傾向(6月17日時点 23.7%)。



3 重症者数の推移等

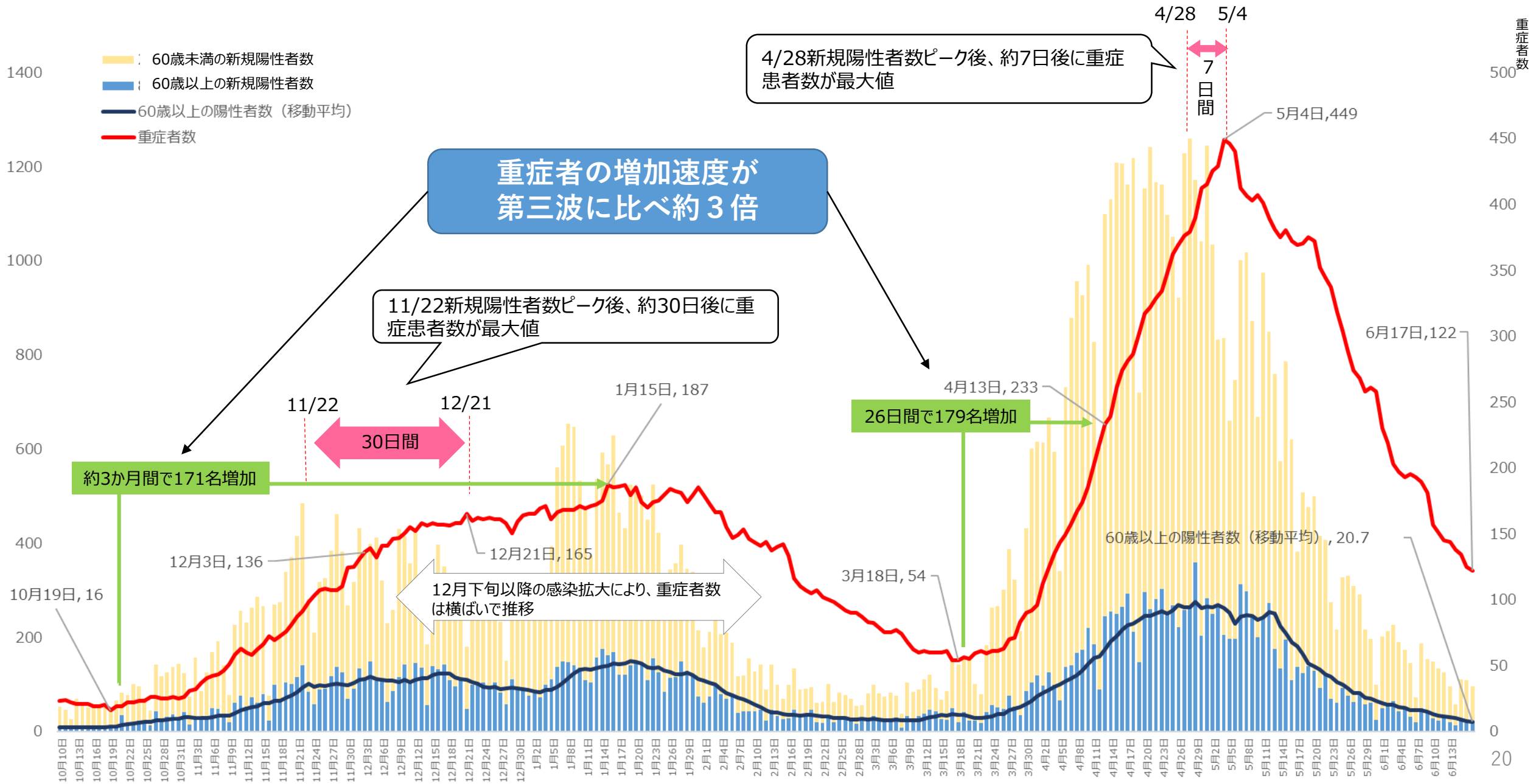
【第三波・第四波】重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

陽性者数

- 60歳未満の新規陽性者数
- 60歳以上の新規陽性者数
- 60歳以上の陽性者数（移動平均）
- 重症者数

重症者数



重症者のまとめ（令和3年6月7日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

第三波と比べ、重症者数に占める50代以下の割合が31.8%（第三波 17.5%）と大きい。

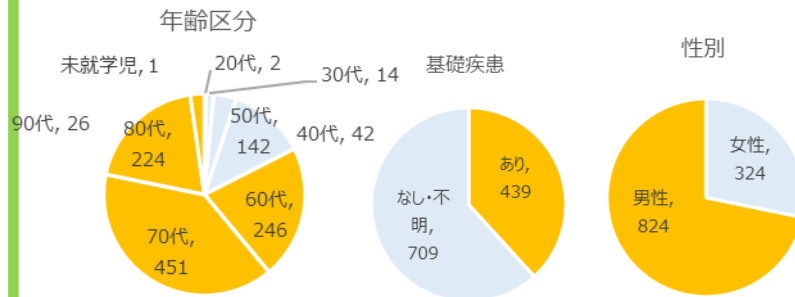
第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数（※）	1,148
死亡	233
転退院・解除	908
帰入院中（軽症）	7
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)



平均年齢：66.1歳、60代以上の割合：82.5%

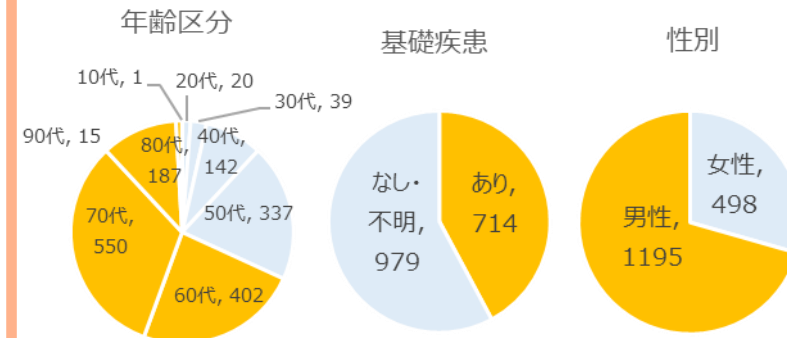
第四波（3/1以降）

新規陽性者数	53,811
(再掲)40代以上(割合)	28,009(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,625(23.5%)
重症者数（※）	1,693
死亡	313
転退院・解除	941
帰入院中（軽症）	246
入院中（重症）	193

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.8%(1,633/28,009)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.1%(1,154/12,625)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.1%(1,693/53,811)



平均年齢：60.9歳、60代以上の割合：68.2%

死亡例のまとめ（令和3年6月7日時点）

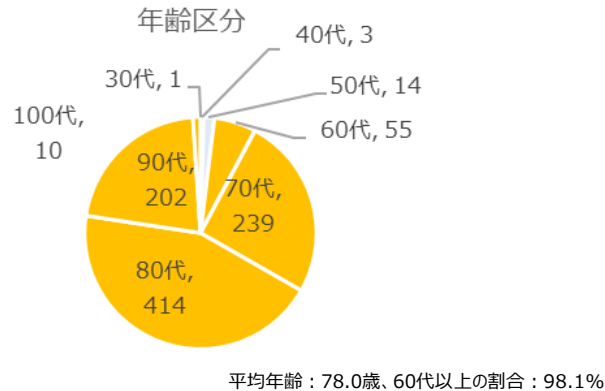
第三波と比べ、死亡者数に占める50代以下の割合が6.2%（第三波 1.9%）と大きい。

第三波（10/10～2/28）

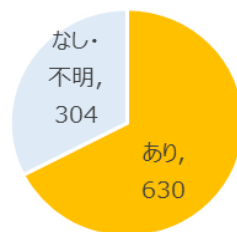
新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
死亡者数	938

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5% (937/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：8.5%(920/10,783)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.6%(938/36,065)



基礎疾患

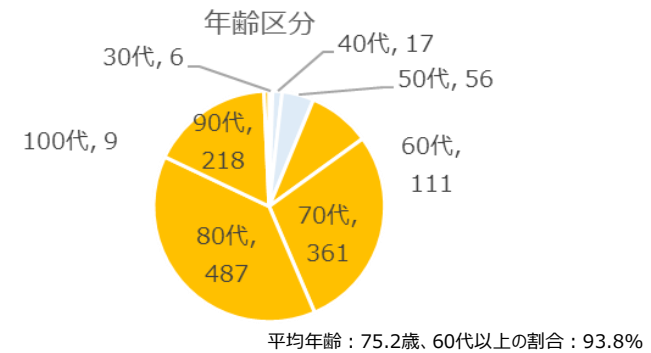


第四波（3/1以降）

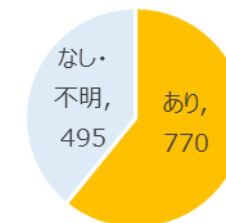
新規陽性者数	53,811
(再掲)40代以上(割合)	28,009(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,625(23.5%)
死亡者数	1,265

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5%(1,259/28,009)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：9.4%(1,186/12,625)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.4%(1,265/53,811)



基礎疾患



※死亡率は6月7日時点までの死亡者数に基づく。
今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動